

「地域を愛し、自分で考え 自分で行動する子ども」を育てる

## コミュニティ・スクール 通信

令和4年度 第3号 6月29日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博



### 中学校8年生「七夕絆交流会」

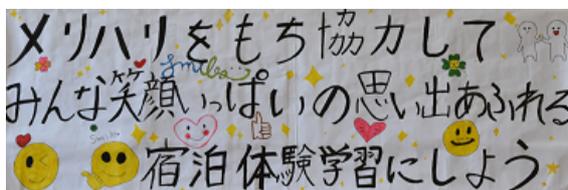
8年生は昨年度「誰もが住みよい日の里に」というテーマで福祉に関する総合学習に取り組みました。本年度は、その思いを大切に、高齢者と顔見知りになり、街で見かけた時に大きな声であいさつができる関係を築いたり、高齢者に困っていることがあったらサポートできる関係を作ったりすることを目標に、6月27日（月）に、「七夕絆交流会」を実施しました。日の里の9地区の公民館や集会所等に分かれ、高齢の方と歓談しながら、自己紹介、七夕飾りに使うこよりや短冊作り、飾り付けを楽しみました。



### 東小と西小の5年生の「宿泊体験学習」

日の里学園の小中一貫教育は今年で17年目を迎えていて、3校の交流活動が、小中だけでなく、小小でも伝統的に実施されている点が大きな特色です。

例年2学期に行われていた「セカンドスクール」を今年から「宿泊体験学習」と名称を改め、1学期に実施することにしました。今年6月22日（水）～24日（金）にグローバルアリーナで行われました。東小と西小の5年生たちは、混合班で様々な活動を行う中で、お互いを知り、親交を深め、規律や連帯感を高め合いました。



1日目は「班のオリジナル旗づくり」、2日目は「タグラグビー」と「キャンドルの集い」、3日目は「日の里オリンピック」などが行われました。写真は、班の旗づくり、タグラグビー、オリンピックの「魔法のじゅうたん」「大縄跳び」の様子です。この体験学習でできた5年生たちの絆は、6年生の修学旅行でさらに深まり、中学校に進学した時のいわゆる「中一ギャップ」の軽減につながると思います。

